

## 藤本 哲 教授

### 【ふじもと てつ】

兵庫県出身。神戸大学経営学部卒業、同大学院経営学研究科博士前期・後期課程修了。奈良産業大学講師・助教授、高崎経済大学経済学部助教授、准教授を経て現職。双子の父。



- 経営管理総論
- 経営組織概論
- 経営組織各論

## 組織構造とは何か？

私は経営組織論を専攻しています。研究テーマは組織構造です。「構造」という用語の使われ方を振り返ってみますと、何かよく分からないが構造が存在して、その構造が人々や企業の行動を縛っている、だから打破しなければならないのだ、といった感じで使われることが、過去何度も出てきたように思います。これはある意味でその通りなのですが、物事の一面を表しているに過ぎず、構造のもつ効果にも目を向けたいものです。

経営組織論においては組織構造をいくつかの側面から捉えます。例えば、規則は組織成員の行動を縛りますが、なぜその規則ができあがってきたのかを知れば、そこには経験や試行錯誤から得られた知恵が込められていることに気づくでしょう。また役割分担のやり方も組織構造の一側面ですが、分担により専門化が進むので熟練の育成に適しています。しかし場合によっては、たらい回しが起きる可能性も内包しています。社会ネットワークの点から構造をみると、今の人脈が物事のある方向に決めているのは事実だとしても、あなたが新たなつながりを作ることによって状況を動かすことが出来るかもしれません。一人一人は弱い存在かもしれませんが、組織の構造を知り、うまく働きかけることによって、状況を改善する可能性が広がります。

ゼミでは多くの本を読んでもらうようにしています。実習で得られる経験も貴重ですが、沢山読み、考え、議論するというのは大学生の時にしかできません。通説とは異なる主張を併せて読むことで、多面的な見方を養って下さい。

経営組織各論のレポートは時間がかかりました。私の場合は教科書を読み始めてからレポートができあがるまで、テレビを見ながらですが、3～4時間かかっていたと思います。これが毎週あるのです。課題が難しい訳ではありません。見た瞬間に「できるじゃん」と思うけど、やり始めると時間がかかるのです。3年次の授業だからなんとなくあったのかもしれませんが、こんなのが2つあったら……。

組織運営に関するテーマが多かったです。部活動やアルバイトなどでの経験を元を書くので、就職活動に入る前の準備にもなりました。授業の中ではテーマに関する議論をやっていました。作成したレポートのファイルがたまってくるのを見ると達成感もあり、楽な授業ではないけどやった分だけ身につきます。「大学でどんなことを勉強しましたか」という質問にも自信を持って答えられたかな。

藤本ゼミ2011年卒業生

ゼミ生のひとこと

